第４５回敦賀マラソン大会　開催


▲３km・男子小学４～６年、中学女子

秋うらら 港まちランナー駆け抜ける

10月18日、第45回敦賀マラソン大会が開催され、約1，900人のランナーが秋の港まちを駆け抜けました。

敦賀マラソン大会は、１９８０年に始まった市民マラソン大会。今年も総合運動公園陸上競技場を発着点とするコースで開催されました。

午前9時のハーフの部を皮切りに、2キロ、3キロ、5キロ、10キロの全18種目が順次スタートしました。ランナーたちは敦賀高校吹奏楽部の演奏に後押しされながら競技場を飛び出していきました。

45回目を迎えた今年は、北は北海道から南は熊本県まで、全国26都道府県からランナーが集まったほか、スペインやオーストラリアなど海外5カ国から6人が参加しました。

また、今年は12大会ぶりに「飛び賞」が復活。開催日の18日にちなみ、対象種目の18位の選手に敦賀の特産品が送られました。

秋晴れの絶好のマラソン日和となったこの日、ランナーたちは「気比の松原」や「敦賀赤レンガ倉庫」など港まちを力走。沿道の声援を力に変え、ゴールを目指していました。


▲競技場を飛び出していくランナー（2㎞・ファミリー女子）

齋藤さん親子選手宣誓



開会式では、齋藤一二（さいとうかずじ）さん（44）、椋介（りょうすけ）さん（8）・（角鹿小2年）の親子が選手宣誓しました。「それぞれの目標に向かって楽しみながら走り切ることを誓います。」と力強く宣誓しました。椋介さんはこの日が誕生日。アナウンスで紹介されると会場から拍手が湧きあがりました。


▲表彰式（2km・ファミリー男子）


▲笑顔でゴールするランナー


▲米澤市長も 10kmコースに参加


▲気比の松原を駆け抜けるランナー

ご協力に感謝します。

第 45 回敦賀マラソン大会は無事終了いたしました。出走した選手、大会運営にご尽力いただいた関係者の皆さまに深く感謝いたします。また、ドライバーの皆さまには一部交通規制で大変ご迷惑をおかけしました。ご協力いただき、お礼申し上げます。

敦賀市、敦賀市教育委員会、敦賀市スポーツ協会、福井新聞社